

# 岐阜市の一体的実施

平成24年4月2日事業開始

市とハローワークが連携して、市役所福祉事務所生活福祉課内のはたらき支援ルームにて職業紹介等を実施。

市

市役所庁舎内の提供

## ① 事業内容

- ・就職支援ナビゲーターより、市役所福祉事務所生活福祉課内のはたらき支援ルームで生活困窮者に対して求人情報の提供、職業相談や職業紹介を実施

## ② 協定・事業計画

- ・岐阜市長と岐阜労働局長の間で協定(\*)を締結
- ・数値目標を盛り込んだ事業計画を岐阜市と岐阜労働局の間で策定

\* 協定の実施等について相互に要望することができ、出された要望には誠実に対応する旨を規定。



国

職業紹介・職業相談の実施等

この協定の締結により、生活困窮者の早期就職に向けた就労支援の強化・充実が図られ、自立への支援の一層の強化と利便性向上を実施。

## (1) 実施体制

### 岐阜市

- ・ 面接相談員、就労支援員、キャリアカウンセラー、ケースワーカーを配置

### 国(ハローワーク岐阜)

- ・ 就職支援ナビゲーター2名を配置
- ・ 求人情報提供用のパソコン1台を配置

## (2) 事業目標と取組状況(8年度)

事業内容	事業目標(年度)	取組状況 (令和8年5月末時点)
生活困窮者に対して求人情報の提供、職業相談、職業紹介等の実施	利用者数 2,000名 支援対象者数 180名 就職者数 256名  (参考)前年度目標 ・利用者数 2,000名 ・支援対象者数 180名 ・就職者数 231名 ・就職率 41.3%	利用者数 153名 支援対象者数 23名 就職者数 33名 就職率 17.4%  (参考)前年同月実績 ・利用者数 321名 ・支援対象者数 31名 ・就職者数 33名 ・就職率 12.9%

# 一体的実施事業（岐阜市）による就職成功例

女性：50代 ・希望職種：清掃

① **求職者の課題**・無職の娘夫婦と同居するため離職し転居、無職となった。金銭管理ができず、収入に見合わない生活費で生活が困窮。

② **紹介の経過**・支援開始前には、求人票額面の高月収最優先、職種や内容を吟味せず応募する傾向が見られ通勤困難や条件が合わないという理由で面接後に辞退することがあった。高収入を望むが本人の経験や能力が見合っていない求人を選んでいて、サポートセンターで生活状況を聞き取り求職条件を整理。通勤範囲が狭く、職種も限られるため求人選定に苦慮。実務経験はないがヘルパー2級を取得しており、無資格未経験の介護職を提案。通勤も便利で希望額に近く昇給賞与がある正社員の求人を提供、興味を持つも介護職に対する不安があり応募に踏み切れず。現在の求人状況や、置かれている状況を丁寧に何度も説明。求人を提供しながら希望条件と何が合わないのか、合うのか、ひとつひとつクリアにしていきながら求人を選定し紹介に至った。生活の改善や就職の目的・目標を本人が理解し受け入れるまでに時間を要した。

③ **結果** 紹介就職 正社員 介護ヘルパー助手

④ **職業相談員の所感**・課題を複数抱えている。無就労無収入の娘夫婦と孫との同居のため離職し転居、無職のまま一家を背負うことになった。娘夫婦には同居前からお金を渡し貯金は使い果たした。また家族で複数の債務を抱えていた。娘夫婦とも障害の疑いがあるが医療関係には繋がっていない。携帯電話不通、生活困窮者用の携帯電話を勧めるも娘が機種や容量に納得せず生活のための失業給付金を娘の携帯買い換えに使ってしまった。現在娘婿と子どもは別居中、同居に向けて早期に生活を立て直す必要があった。本人は娘の意見に従うことが多く、求人も娘の意見を優先。家計管理が苦手で見先のお金はあるだけ使ってしまう、就職活動に充てることは難しい状況が続いた。また、置かれている状況や問題点、やるべき優先順位を理解し受け入れることが難しいようで、生活改善と就職活動を平行して行い就職に結びつけるにはサポートセンター支援員の粘り強い相談や後押し、緊密な連携が不可欠であった。

⑤ **本人のコメント**・未経験の介護職で不安は大きいけど給料が良い。家族と生活ができるように頑張りたい。